

EM Island

タイ チュンブーン県 ピタック島

タイ南部のチュンブーン県ランスワン市にある「ピタック島」は、現在 42 家族が暮らす小さな島。

島民の職業は主に漁業。島内には、車・バイク等はなく、移動は自転車と船のみ。ホテル・レストランも無くホームステイが出来るのみで、家は海の上に建てられており、廃水・汚水が直に浜辺の環境に影響を与えるような場所です。



「ピタック島」は「精霊が呼ぶ島」という意味



海の上に建つ家

この島の区長が EM の講習会を受けたのをきっかけに、島内の廃水の悪臭対策・環境改善に EM の使用を開始しました。

最初は自分の家の排水路に EM を活用。嫌な臭いが消えたのをきっかけに島内の人にも使用を勧めるが、初めは協力関係が築けなかったそうです。

しかし区長は、米のとぎ汁を EM で発酵させ、排水処理や床下の浜辺などに流したり、生ごみを EM で発酵させて、液体はそのまま海へ、固体は土団子に混ぜて家の周りに投入。すると、臭気はもとより、周辺の汚泥も無くなり、いつの間にか魚が集まってくるようになってきました。



集まってきた小魚



作成された泥団子

よく見ると、小魚が EM 団子を食べにやって来て、その小魚を食べに、大きめの魚が来るようになる。その状況を見ていた島民たちは、区長から EM の使用方法を聞いて自宅実践するようになり、今では全家族で EM 団子を作って海に投げ入れています。



EM 勉強会の様子



EM 団子作りの実習

今では、魚が EM 団子を目掛けて勝手に集まってくるので、遠くまで船で行って漁をする必要がなくなり、イルカもよく見かけるようになりました。また、最近見かけなかった魚（水を吹きかけて虫を採って食べる魚）までも戻ってきているとの事。

ホームステイのお客さん（1泊3食付700B）からも、ここの魚の味はひとあじ違いと好評だそうです。最近の区長の楽しみは、晩酌しながら家のそばまで来る魚を釣り上げ、すぐ酒の肴にして食べる事だそう。「食べ残したものはEMで発酵して、EM団子にして海に投げればいいのさ」と区長は楽しそうに話しました。

魚釣りだけでなく、イカ釣りも楽しめる、自然にやさしい「ピタック島」。今、この島の活動を見習おうと、多くの島から注目が集まっています。